

## 2 取矢神社

神社の名称である「取矢」の矢は水を表し、その水を取り込むということから、その名がつけられたと伝わっています。

また、弓の名手であった早矢仕新助が、美しい鳥を捕まえようと放った矢を、鳥がくちばしで受け取り飛び去ったことから、その鳥は神の使いと信じ、近くのお宮を新しく建て直し、取矢神社と名付けたという伝承もあります。

神社の近くには大桑城があった山の名にちなんだ金鶏の滝などがあります。



「山口市大桑地区サイクリングガイド」より

## 7 逸見杉

承久の乱(1221年)の勲功で大桑を治めることとなった逸見又三郎義重のお手植えといわれ、樹齢約800年、目通り(木の周囲の長さ)5.2メートルで、市重要文化財(天然記念物)に指定されています。



## 1 大桑城跡(古城山・金鶏山)



大桑城跡は、室町から戦国時代にかけて権勢を誇った土岐氏最後の拠点です。標高407.5メートルの古城山の尾根と尾根の北側には、傾斜を削って平らに造成し、屋敷、監視所、馬場などが築かれたと考えられる曲輪が分布しています。

また、堀切、豎堀が設けられ、古城山の麓には、四国堀など大規模な3つの堀が築かれていたことから、大桑城は堅固な山城であったと考えられています。

## 4 六万墓



六万墓の石碑は、四国堀跡の近くに建っています。「六万(六萬)」という数字は定かではありませんが、それほど多くの人々を巻き込む合戦がこの地で行われたことを物語っています。

## 6 十五社神社



平安時代に創建された神社で、土岐氏が氏神として崇敬してきました。1540(天文9)年には石の狛犬(市指定重要文化財)が一對土岐氏から奉納されており、狛犬の基底部には「天文九庚子年」「奉土岐氏神」と刻まれています。

### 3 四国堀跡



大桑城下の谷筋をふさぎ止めるように造られた空堀と土塁の跡です。「四国堀」と呼ばれるのは、尾張、伊勢、越前、近江の四つの国の加勢を受けて築いたと伝えられていることに由来しています。堀の深さは5メートル、幅約8メートルで、土塁の長さは約100メートルにわたって残っており、市指定史跡となっています。



### 5 南泉寺

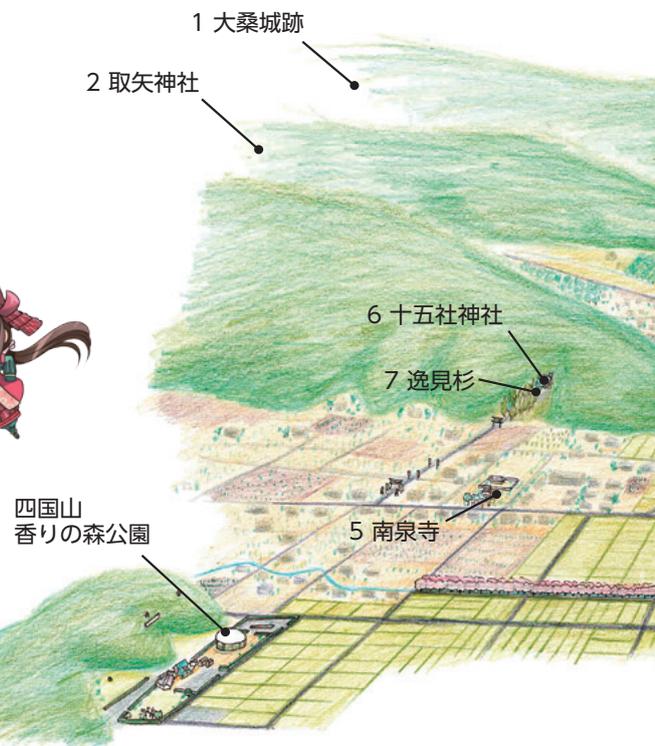


南泉寺は、土岐氏の菩提寺として開山しました。

1551(天文20)年には、「安禅は必ずしも山水をもちいず、心頭を滅却すれば、火も自ずから涼し」という言葉で有名な快川紹喜かいせんじょうきが住職となり栄えました。

土岐頼芸の作と伝わる鷹の画(市指定重要文化財)が所蔵されています。

市内の歴史スポットを探索してみよう!



#### レンタサイクル

四国山香りの森公園には、レンタサイクルがあります。公園には約130台の無料駐車場がありますので、公園を基点に歴史あふれる大桑地区を自転車で巡ってはいかがですか。

▼**料金**  
100円/1回

▼**利用時間**  
9時~16時30分



園内にあるハーブ園では、ブルーベリー摘みができます。(8月中旬頃に終了します)

▼**受付** 9時~15時

▼**参加費**  
小学生以下500円  
中学生以上700円

▼**特典**  
・ブルーベリー100g  
お土産  
・ブルーベリージュース  
1杯付

※31ページに関連情報がありません。

土岐氏ゆかりの地の近くには、  
こんなスポットも!

四国山香りの森公園  
香り会館&  
ティーハウスハーブレンド  
園香り会館 TEL22-5400